

入院診療計画書② 頸部・皮膚（皮下）腫瘍の局所麻酔手術を受けられる方へ

ID： 患者ID

新規作成日： 新規作成日

氏名： 氏名

日付				
経過	手術前	手術中	手術後	1日後
目標	手術について理解できる 転倒予防行動ができる		創部に問題がない 呼吸状態が安定している 転倒予防行動ができる	創部に問題がない 日常生活の注意点について理解できる 転倒予防行動ができる
注射	手術前に点滴を開始します。	手術室で抗生剤を1回使用します。	※点滴の部位が痛い時はすぐ教えてください。	点滴が終わり次第針を抜きます。 ※点滴の部位が痛い時はすぐ教えてください。
投薬	持参したお薬の確認を行います。		お食事開始後、お薬を再開します。 再開する薬は看護師が確認します。	
検査				
放射線				
処置	手術前に手の甲に手術部位を示す印をつけます。	手術開始時間： 時 分 ●開始時間が前後する場合があります。 ●手術室までは歩いて行きます。 ●ご家族も手術室までは一緒に行きます。その後は デイルームでお待ちください。	●手術室にお迎えに行く際にはご家族も一緒に行きます。 ●手術室前で医師から説明があります。 ●帰室は車椅子になります。	●病棟で診察します。 ●診察後、退院になります。
食事	食べたり飲んだりできません。		状態が安定して入れば夕食からお食事ができます。	
清潔	手術前入浴等はできません。		手術後入浴はできません。 歯ブラシはしっかり行ってください。	退院後は入浴できます。 傷を濡らさないようご注意ください。
排泄	手術前にお手洗いを済ませてください。		歩行が可能になるまでは尿器を使用します。	前日の排泄回数を朝確認します。
安静度	●制限はありません ●入院中は外出外泊できません。 ●手術前はできるだけ自室でお過ごしください。 ●転倒、転落に注意してください。		●医師が状態を確認後、歩行可能になります。 ●手術した部位を下にして寝ないよう注意してください。 ●転倒、転落に注意してください。	●制限はありません。 ●転倒、転落に注意してください。
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません			
看護ケア	入院時と手術へ行く前にお熱などを測定します。		手術後、帰室時、安静解除時、寝る前にお熱等を測定します。	朝お熱などを測定します。
	●入院までの経過などお話を伺います。 ●入院生活での必要なこと、手術について説明します。 ●入院生活のご案内のパンフレットを確認してください。 ●ネームバンドについて説明し、装着します。 ●入院生活で気をつけていただきたい9箇条について説明します。 ●転倒転落予防のビデオを見ていただきます。 ●貴重品は必ずセーフティボックスへ入れ、鍵は手首につけておいてください。		●手術した場所を圧迫して固定します。テープは外さないようにしてください。 ●ガーゼから血液等染み出してきたときはすぐにおしえてください。	
確認事項	入院や手術に必要な書類等を確認します。			<退院後の生活についてご説明します> ●傷口が痛む、出血している、腫れがひどくなった、息苦しいなどがあった場合は病院へ連絡してください。 ●傷口を濡らさないようにすれば入浴できます。 ●退院はお会計を済ませてからになります。お会計後、お薬や書類をお渡します。 ●お忘れ物のないよう気を付けてお帰りください。
	入院診療計画書について説明します。			
	貴金属類、義歯、コンタクトレンズなどは外してください。金庫の鍵や貴重品はご家族に預けてください。			